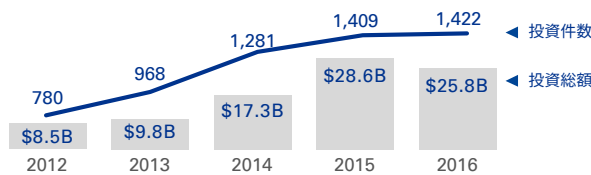


# イノベーションを実現させる投資手法： CVC — その現状と導入に向けた戦略

## VB投資のトレンド – 活発化するCVC

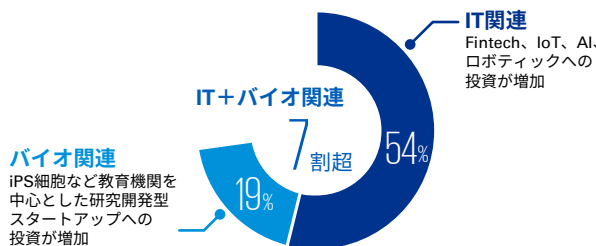
世界のCVCのディール数および投資総額推移\*1



### CVCのメリット

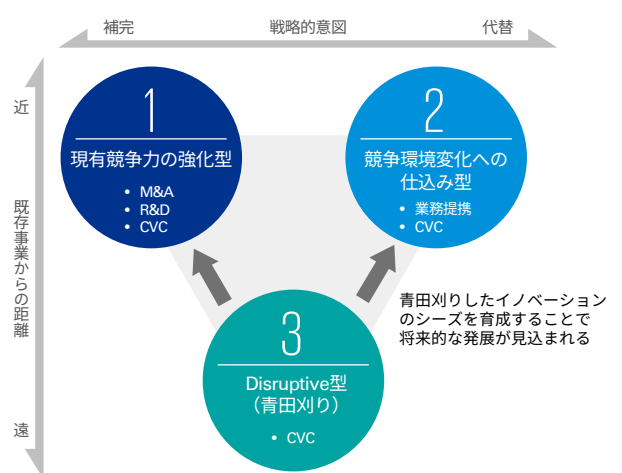
- 1 既存の組織やサービスにとらわれない新しい価値の創出
- 2 既存ビジネスの開発・展開とシナジー創出
- 3 社内組織の活性化、人材育成

### 日本のVB投資における投資金額の分布\*2



## CVCの事業戦略的意義

イノベーションの分類と取組み手法\*3



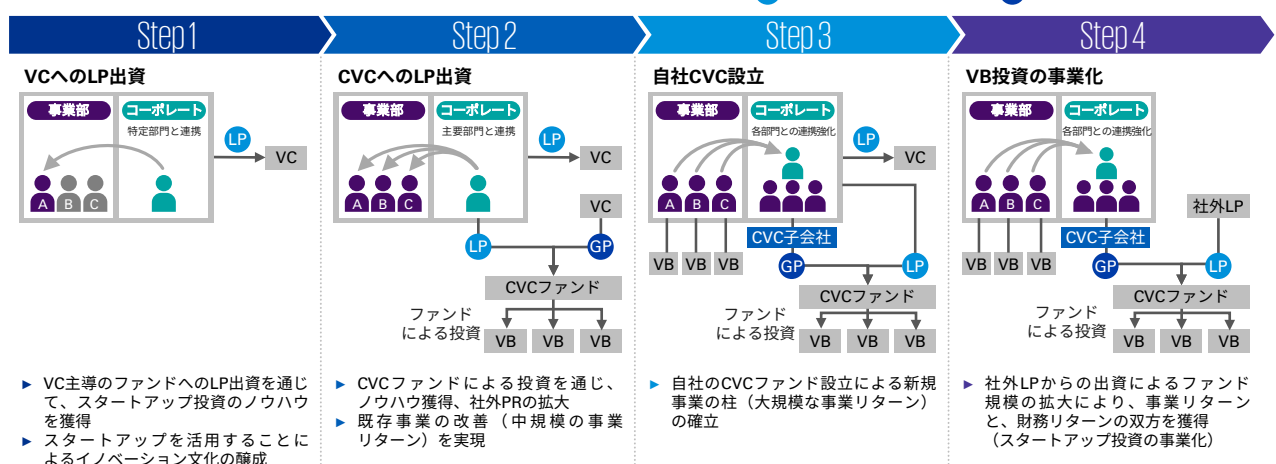
- 1 補完型：“既存事業を継続的に改善する”イノベーション
- 2 代替型：“既存事業を飛躍させる”イノベーション
- 3 青田刈り：補完・代替の区別がつかないイノベーションのシーズ

## CVCのアプローチ方法

### CVCに取り組む際のポイント

- Point 1 CVCの戦略的意図と既存事業からの距離を定義
- Point 2 コーポレート・事業部とCVCのコミュニケーションプランの定義
- Point 3 会計・税務面を踏まえた適切な投資スキームの検討

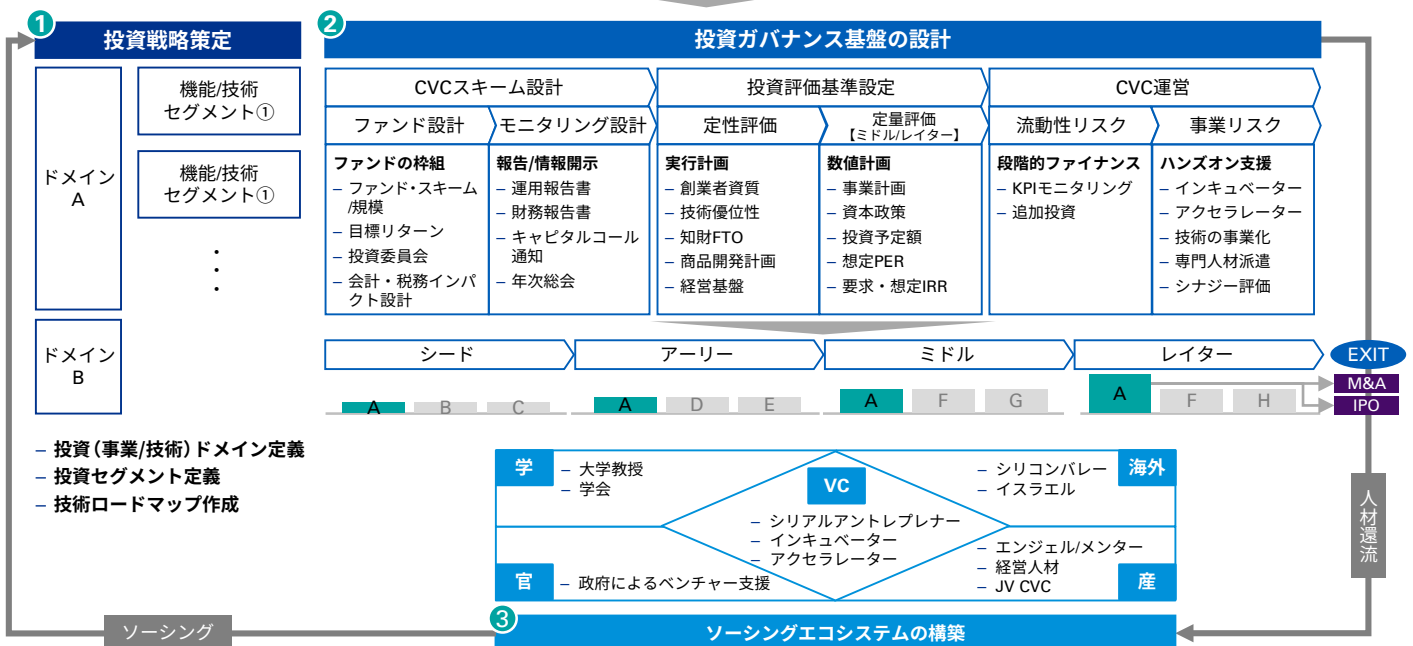
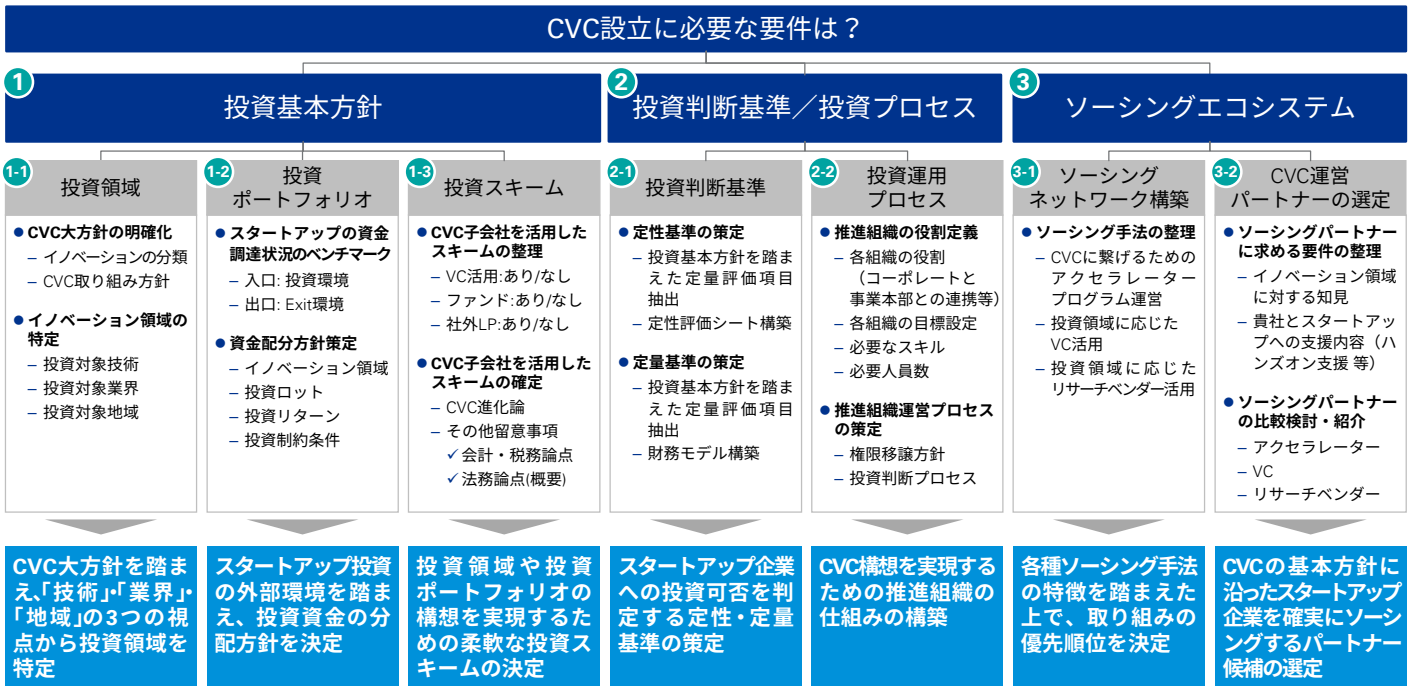
### アプローチ方法 (例)



[Source] \*1：「CB Insights Global CVC Report」を元にKPMG作成 \*2：「VEC」ベンチャー白書2016 電子版」を元にKPMG作成 \*3：「オープンイノベーションとCVC投資」（2017）植原伸彦を元にKPMG作成

## CVC設立の際に必要な要件と密接な連動の必要性

CVCを設立する際には、投資戦略の策定、投資ガバナンス基盤の設計、ソーシングエコシステムの構築という3つのモジュールに係る検討が必要となります。これらのモジュールが適切に連動する事で、グループ会社本社から与えられた経営資源が適切に活用される状態となり、CVCが持続的に運用されます。特に、投資戦略の策定は、当該活動の全てにおける起点になります。



株式会社 KPMG FAS

〒100-0004

東京都千代田区大手町1丁目9番5号

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

T: 03-3548-5770

E: fasmktg@jp.kpmg.com

www.kpmg.com/jp

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2017 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 17-1166

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.